

日本温暖化ガス削減基金への出資

平成16年11月24日
北陸電力株式会社

当社はこのたび、地球温暖化防止に向けた新たな取り組みとして、日本温暖化ガス削減基金 (Japan Greenhouse Gas Reduction Fund: JGRF)へ、300万米ドル(日本円換算:約3.3億円)の出資を行うことといたしましたのでお知らせします。

本基金は、当社を含め日本国内の企業31社および政府系金融機関である国際協力銀行と日本政策投資銀行が共同で出資、設立する京都メカニズムを活用するアジア初の炭素基金です。

出資者は、本基金への出資を通して、開発途上国等における温室効果ガス排出削減事業への支援を行い、地球規模での温暖化防止と開発途上国等の持続可能な発展に貢献するとともに、その結果生じるCO2排出削減量(クレジット)を獲得することができます。

本基金への出資により、当社が獲得するCO2クレジットは、約50万トンの見込みです。

当社では、これまでも環境保全活動を重要な経営課題と考え、地球温暖化防止については、原子力発電の安全・安定運転と建設の推進、新エネルギーの導入と開発の推進、省エネルギーの推進、オーストラリアにおける研究植林などに取り組んできました。今後も引き続き、積極的な環境保全活動を展開していきます。

本基金の概要は別紙の通り。

以上

日本温暖化ガス削減基金（JGRF）の概要

【概要】（1米ドル＝110円で換算）

基金の設立時期

2004年12月1日（予定）

運用期間（予定）

2004年12月～2014年12月

基金規模

約1.4億米ドル（約150億円）

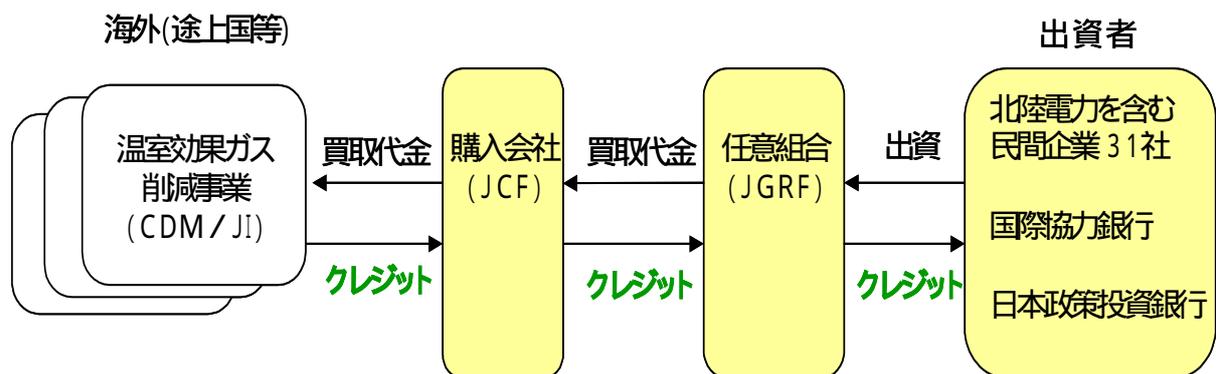
当社出資額

300万米ドル（約3.3億円）

当社クレジット獲得見込量

約50万t-CO₂

【仕組み】



- ・ JGRFは、全出資者より設立される任意組合であり、購入会社から獲得したクレジットを各出資者に分配する。
- ・ JCFは、海外における温室効果ガス削減事業からクレジットを購入し、JGRFへ転売する。

【京都メカニズムとは】

京都議定書で認められている地球規模で温室効果ガスを削減するための手段で、以下の3つを指す。

- ・ クリーン開発メカニズム（CDM）
先進国が途上国において温室効果ガス削減事業を実施し、それによる削減分を自国の目標達成に利用できる制度
- ・ 共同実施（JI）
先進国同士が共同で温室効果ガス削減事業を実施し、それによる削減分を自国の目標達成に利用できる制度
- ・ 排出量取引
先進国同士が排出枠を売買する制度